

8 肥料検査の概要

(1) 検査

ア 月別立入検査成績

令和 年.月	立入 事業場 数	収 去 件 数				備 考 (立入事業場の所在地)	
		生産事業場			販 売 事業場		計
		知事 登録	指定 配合	特殊 肥料			
6. 5	4	3		2		5	加須市、神川町、深谷市（2）
6. 7	2			2		2	桶川市、朝霞市
6. 10	3	1		3		4	上尾市、川越市、深谷市
6. 11	3	3				3	朝霞市、横瀬町（2）
計	12	7		7		14	

(注) () 内は立入検査を実施した事業場の数。特記以外は1。

イ 普通肥料の検査

(ア) 検査標品点数及び対象数量

	生産事業場		販売 事業場	備 考
	知事登録肥料	指定混合肥料		
検査標品点数	7	0	0	
不合格点数	0	0	0	
検査対象数量(t)	26	0	0	
保証票検査等に 係る違反点数	0	0	0	

(イ) 分析検査成績

a 種類別検査成績

肥料の種類	検査標品点数	不合格点数	不合格率(%)
なたね油かす及びその粉末	1	0	0
乾燥菌体肥料	3	1	33.3
食品残さ加工肥料	1	0	0
消石灰	2	0	0
計	7	1	14.3%

b 成分別検査成績

検査成分	検査標品点数	不合格点数	不合格率(%)
窒素全量	5	1	20
りん酸全量	4	0	0
加里全量	2	0	0
アルカリ分	2	0	0
カドミウム	3	0	0
その他(油分)	1	0	0
計	17	1	5.9%

(ウ) 重量検査

肥料の種類	検査点数(銘柄数)	不合格点数	不合格率(%)
消石灰	20(2)	0	0
計	20(2)	0	0

ウ 特殊肥料の検査

(ア) 検査標品点数及び対象数量

	生産事業場	備 考
検査標品点数	7	
不合格点数	0	
検査対象数量(t)	44	

(イ) 分析検査成績

a 種類別検査成績

指 定 名	検査標品点数	不合格点数
米ぬか	1	0
堆肥	6	0
計	7	0

b 成分分析調査成績

分析成分	分析成分点数	不合格点数
水分	7	0
窒素全量	7	0
りん酸全量	7	0
加里全量	7	0
石灰全量	7	0
亜鉛全量	7	0
銅全量	7	0
炭素窒素比	7	0
計	56	0

(ウ) 重量検査

肥料の種類	検査点数 (銘柄数)	不合格点数	不合格率 (%)
堆肥	10 (1)	0	0
計	10 (1)	0	0

エ 検査結果の公表 (県報掲載状況)

公表年月日	検査点数 (銘柄数)			不合格点数			保証票 検査等 に係る 違反数
	普通 肥料	指定 混合	特殊 肥料	普通 肥料	指定 混合	特殊 肥料	
R6. 7. 5	0	0	2	0	0	0	0
R6. 7. 23	3	0	0	1	0	0	0
R6. 9. 27	0	0	2	0	0	0	0
R6. 12. 6	0	0	3	0	0	0	0
R7. 2. 4	4	0	0	0	0	0	0
計	7	0	7	1	0	0	0

オ 肥料取締法違反の処分状況

(ア) 告発 該当なし

(イ) 注意等行政指導

- a 当センター検査に係るもの TN保証成分量不足
- b 他の検査機関から依頼されたもの 該当なし
- c 他の検査機関へ依頼したもの 該当なし

(2) 登録及び届出

今年度の知事登録普通肥料の申請及び届出件数は 19 件（前年度比－13）であった。新規登録件数は 3 件（前年度比＋3）であり、肥料登録有効期間延長（更新）申請が 10 件（前年度比－2）であった。書替申請 0 件（前年度比－1）であり、再交付申請 0 件（前年度比±0）、変更等届出が 3 件（前年度比－15）、登録失効届出は 3 件（前年度比＋2）であった。

指定混合肥料の各届出は 6 件（前年度比＋2）であった。

特殊肥料関係の各届出は計 31 件（前年度比－31）であった。

肥料販売関係の届出は、172 件（新規 30・変更 125・廃止 16・その他 1）であった。

令和 7 年 3 月末現在、生産業者数は知事登録普通肥料 34 業者・指定混合肥料 13 業者・特殊肥料 362 業者であり、のべ合計 409 業者となっている。また、肥料の有効銘柄数は、知事登録普通肥料 73 銘柄・指定混合肥料 27 銘柄・特殊肥料 479 銘柄、合計 579 銘柄となっている。

ア 肥料の種類別新規登録件数

肥料の種類	件数
菌体リン酸肥料	1
副産動植物質肥料	1
混合堆肥複合肥料	1
計	3

イ 肥料の種類別登録更新件数

肥料の種類	件数
魚かす粉末	1
乾燥菌体肥料	4
混合有機質肥料	4
食品残さ加工肥料	1
計	10

ウ 肥料の種類別失効件数

肥料の種類	件数
副産動物質肥料	3
計	3

エ 指定混合肥料の新規届出件数

肥料の種類	件数
土壌改良資材入り指定混合肥料	3
計	3

オ 特殊肥料の種類別新規届出件数

肥料の種類	件数
堆肥	9
牛ふん	(3)
家きんふん	(1)
その他	(5)
草木灰	1
混合特殊肥料	1
計	11

カ 知事登録普通肥料の種類別有効登録件数
(令和7年3月31日現在)

肥料の種類	有効登録数	備考	
		R5年度	R4年度
菌体りん酸肥料	1	0	0
魚かす粉末	8	8	8
魚節煮かす	2	2	2
肉かす粉末	1	1	1
なたね油かす及びその粉末	3	3	3
ごま油かす及びその粉末	0	0	0
米ぬか油かす及びその粉末	2	2	3
ひまし油かす及びその粉末	1	1	1
豆腐かす乾燥肥料	1	1	1
加工家きんふん肥料	3	3	3
副産動植物質肥料	1	0	0
副産植物質肥料	2	2	2
乾燥菌体肥料	12	12	12
副産動物質肥料	0	3	3
混合有機質肥料	12	12	12
混合堆肥複合肥料	1	0	0
食品残さ加工肥料	1	1	1
配合肥料	2	2	2
生石灰	3	3	3
消石灰	13	13	13
炭酸カルシウム肥料	3	3	3
副産石灰肥料	1	1	1
計	73	73	74

キ 指定混合肥料の種類別有効届出数
(令和7年3月31日現在)

肥料の種類	届出数
指定配合肥料	22
指定化成肥料	0
特殊肥料入り指定混合肥料	0
土壌改良資材入り指定混合肥料	5
計	27

ク 特殊肥料の指定名別有効届出数
(令和7年3月31日現在)

指定名	届出数
粗砕石灰石	1
米ぬか	5
くず大豆及びその粉末	1
草木灰	6
骨炭粉末	1
動物の排せつ物	14
牛ふん	(1)
豚ふん	(1)
家きんふん	(12)
動物の排せつ物の燃焼灰	3
家きんふん	(3)
堆肥	426
牛ふん	(120)
家きんふん	(47)
豚ふん	(45)
生ごみ	(47)
樹皮	(4)
その他(馬ふん)	(5)
その他(草木質系(樹皮以外))	(65)
その他	(93)
発泡消火剤製造かす	3
貝殻肥料	5
貝化石粉末	1
カルシウム肥料	7
混合特殊肥料	6
計	479

ケ 各種申請・届出の処理状況

申請・届出の種類	件数	備考
肥料登録申請	3	アのとおり
肥料登録有効期間更新申請	10	イのとおり
肥料登録事項変更届	3	代表者 3
肥料登録証書替交付申請	0	
肥料登録証再交付申請	0	
肥料登録失効届	3	ウのとおり
指定混合肥料生産業者届	3	土壌改良資材入り指定混合肥料
指定混合肥料生産業者届出事項変更届	3	代表者
指定混合肥料生産事業廃止届	0	
特殊肥料生産業者届	11	オのとおり（法人 9、個人 2）
特殊肥料生産業者届出事項変更届	10	代表者 4、住所 3、その他 3
特殊肥料生産事業廃止届	10	堆肥（法人 4、個人 6）
肥料販売業務開始届	30	法人 18、個人 12
肥料販売業務開始届出事項変更届	125	事業所 101、代表者 21、その他 3
肥料販売業務廃止届	16	法人 9、個人 7
その他の届出	1	肥料販売届出受理の証明
計	228	

※件数は、申請書、届出書の件数

コ 肥料生産業者及び販売業者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

区分	業者数	有効銘柄数等	
生産業者	普通肥料生産業者	34	73
	指定混合肥料生産業者	13	27
	特殊肥料生産業者	362	479
	計	409	579
販売業者	農協系	20	（うち生産を兼ねるもの 0）
	商系	1,277	（ ” 380）
	計	1,297	—

(3) 調査事業等

肥料行政の推進や肥料の安定供給に必要な肥料の生産・流通の現状を把握するため、肥料流通実態調査事業による肥料の生産量の調査を行った。流通量調査については令和5年を最後に実施を取りやめている。

ア 肥料生産量調査

(ア) 目的

埼玉県知事登録及び届出肥料の生産量の実態を把握する。

(イ) 調査方法

埼玉県知事登録のある普通肥料生産業者と埼玉県知事に届出をした指定混合肥料生産業者及び特殊肥料生産業者を対象として、令和6年1月から令和6年12月までの肥料生産量の調査を実施した。

対象とした肥料生産業者数及び肥料の銘柄数は以下のとおり。

業者の種類	業者数	対象となる肥料の銘柄数
知事登録普通肥料生産業者	33	72
知事届出指定混合肥料生産業者	13	23
特殊肥料生産業者	299	403

(ウ) 調査結果の概要

令和6年の知事登録肥料および知事届出の指定混合肥料の生産量は、21,175トン（対前年比144%）で前年より大きく増加した。乾燥菌体肥料（同115%）、米ぬか油かす及びその粉末（同102%）の生産はあまり伸びなかったが、未利用のりん酸肥料として国が菌体りん酸肥料をリン酸の肥料成分を保証し、他の肥料と混合できる原料として位置づけたため、いち早く県内に菌体りん酸肥料の生産が行われ、増加した。逆に、生石灰（同58%）、副産石灰肥料（同65%）等は減少した（表1）。

特殊肥料の生産量は90,109.6トン（同114%）肥料高騰の影響を受け増加した。生産量の多くを占める堆肥が88,269.9トン（同115%）とその利用率が高くなったと思われる。堆肥の種類では、牛ふん堆肥（同100%）、豚ふん堆肥（同111%）、家きんふん堆肥（同109%）いずれも前年度と同等かそれ以上となった（表2）。

表1 埼玉県知事登録及び届出の普通肥料生産量

肥料の種類	生産量(トン)			令和5年払出量(トン)			調査対象登録
	令和6年(トン)	令和5年(トン)	対前年比(%)	国内向製品(トン)	原料用(トン)	その他(トン)	
菌体りん酸肥料	7,178.5	0.0	-	0.0	7,158.5	20.0	1 [1]
魚かす粉末	5.5	6.4	86%	5.5	0.0	0.0	8 [1]
魚節煮かす	6.1	11.1	55%	6.1	0.0	0.0	2 [1]
肉かす粉末	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	1 []
食品残さ加工肥料	5.0	5.0	100%	1.0	0.0	4.0	1 [1]
豆腐かすの乾燥肥料	0.0	0.2	0%	0.0	0.0	0.0	1 []
なたね油かす及びその粉末	1,008.0	1,351.0	75%	710.0	375.0	130.0	3 [2]
米ぬか油かす及びその粉末	5,607.0	5,511.0	102%	3,392.0	2,215.0	367.0	2 [2]
ひまし油かす及びその粉末	58.1	11.0	528%	40.5	0.0	41.2	1 [1]
加工家きんふん肥料	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	3 []
副産植物質肥料	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	2 []
乾燥菌体肥料	3,020.5	2,615.7	115%	390.9	2,624.6	405.0	12 [6]
混合有機質肥料	388.0	334.0	116%	3.0	378.5	16.5	12 [6]
混合堆肥複合肥料	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	1 []
配合肥料	2.4	2.6	92%	0.0	2.4	0.0	2 [2]
生石灰	61.0	105.0	58%	61.0	0.0	0.0	3 [2]
消石灰	2970.0	3,688.0	81%	2,765.0	0.0	220.0	13 [9]
炭酸カルシウム肥料	538.0	626.0	86%	537.0	0.0	0.0	3 [1]
副産石灰肥料	282.2	436.0	65%	358.2	0.0	55.0	1 [1]
指定混合肥料	44.5	37.1	120%	38.5	11.2	0.0	23 [5]
(指定配合)	(44.5)	(37.1)	(120%)	(38.5)	(11.2)	(0.0)	(23 [5])
計	21,174.8	14,740.0	144%	8,308.7	12,765.2	1,258.7	95 [41]

注) 1 普通肥料の生産量には、飼料用・工業用等のその他の区分のものは含めていない。

2 生産量と払出量の差は在庫や昨年生産品の出荷である。

3 生産量・払出量は肥料の種類ごとに四捨五入しているので、種類ごとの総和が、計に合わないことがある。

表2 埼玉県知事届出の特殊肥料生産量

特殊肥料の種類	令和6年 (トン)	令和5年 (トン)	対前年比 (%)	調査対象 有効届出数 [生産実績あったもの]
米ぬか	504.6	854.4	59%	5[4]
くず大豆及びその粉末	1.8	0	-	1[0]
草木灰	98.0	64.0	153%	5[1]
骨炭粉末	0.0	0	-	1[0]
動物の排せつ物	1209.2	1113.2	109%	13[7]
(牛ふん)	(2.0)	(2.0)	(100%)	(1[1])
(豚ふん)	(0.0)	(0.0)	(-)	(1[0])
(家きんふん)	(1207.2)	1111.2	109%	(11[6])
動物の排せつ物の燃焼灰	15.9	15.6	102%	2[2]
(家きんふん)	(15.9)	(15.6)	(102%)	(2[2])
堆肥	88269.9	76871.4	115%	360[159]
(樹皮堆肥)	(0.0)	(0.0)	(-)	(3[0])
(牛ふん堆肥)	(32914.2)	(27441.9)	(100%)	(104[50])
(豚ふん堆肥)	(6827.0)	(6156.0)	(111%)	(40[14])
(家きんふん堆肥)	(17893.3)	(12467.0)	(109%)	(33[19])
(生ごみ堆肥)	(2456)	(2490)	(99%)	(38[14])
(その他の堆肥)	(28179)	(28316)	(100%)	(142[62])
発泡消火剤製造かす	0	0	-	1[0]
貝化石粉末	0	0	-	1[0]
カルシウム肥料	3.4	3.2	108%	7[3]
粗砕石灰石	0	1	0%	1[0]
混合特殊肥料	6.8	41	17%	6[1]
計	90109.6	78963.7	114%	403[206]

- 注) 1 特殊肥料の生産量には、飼料用・工業用等のその他の区分のものは含めていない。
2 特殊肥料の堆肥の中の区分は、それぞれ全体の50%を占める原料により便宜的に区分けした。
3 生産量は特殊肥料の種類ごとに四捨五入しているため、種類ごとの総和や対前年比の値が、見たい目上、合わないことがある。

イ 肥料流通量調査(～令和 4 肥料年度)

(ア) 目的

埼玉県内における化学肥料、有機質肥料等の流通量を把握し、効率的な立入検査の実施や、需要に応じた肥料の生産指導等に活用するため実施していたが、令和 4 肥料年度を最後に流通量調査を取りやめている。

(イ) 調査方法

埼玉県知事に届出のある肥料販売業者のうち、全肥商連・埼玉県部会の会員（卸売業者）から 25 件、県内の肥料メーカーから 12 件、J A全農さいたま、ホームセンター等（量販店）、ネット販売業者から 49 件を選定し、令和 4 肥料年度（令和 4 年 7 月～令和 5 年 6 月）における肥料販売量について調査を実施したのを最後に現在、調査は実施していない（表 3）。

表3 埼玉県内の肥料販売量の推移

(取り扱い実数、単位：トン)

年 度 肥料の種類等	26肥年	27肥年	28肥年	29肥年	30肥年	R元肥年	R2肥年	R3肥年	R4肥年	R4/R3比 %
硫 安	392	379	391	372	249	194	236	283	239	84.5
尿 素	187	225	237	50	151	148	175	239	64	26.9
塩 安	47	46	49	1	43	37	52	50	53	105.4
硝 安	3	1	2	162	2	1	2	0	0	—
石灰窒素	857	948	1,354	832	980	630	894	1,089	523	48.0
その他窒素肥料	103	160	90	76	37	76	67	101	76	75.2
窒素肥料合計	1,590	1,759	2,123	1,493	1,462	1,086	1,426	1,761	955	54.2
過りん酸石灰	242	215	185	136	138	116	115	115	72	62.7
重過りん酸石灰	40	36	30	25	18	19	21	23	12	53.7
熔成りん肥	21	22	550	484	375	402	480	412	255	61.9
加工りん酸肥料	38	28	10	1	1	1	1	12	6	49.4
その他りん酸肥料	137	128	176	43	142	134	91	133	129	96.6
りん酸肥料合計	973	940	951	689	674	672	709	695	474	68.2
塩化加里	28	28	28	29	22	12	18	19	13	70.9
硫酸加里	44	31	36	25	25	27	41	10	26	263.4
その他加里肥料	221	258	255	285	333	323	382	357	289	81.0
加里肥料合計	294	317	319	339	380	362	440	386	329	85.2
高度化成肥料 (内 有機入り)	17,316 (901)	15,815 (1,016)	19,103 (1,625)	16,101 (1,309)	15,496 (984)	15,766 (1,083)	15,810 (1,408)	16,252 (979)	12,826 (507)	78.9 51.8
普通化成肥料 (内 有機入り)	6,039 (2,462)	5,715 (2,093)	6,670 (2,719)	5,650 (2,401)	5,437 (2,083)	5,214 (2,222)	5,925 (991)	5,487 (3,463)	3,484 (1,845)	63.5 53.3
NK化成肥料	827	699	1,141	414	1,171	874	587	671	716	106.8
配合肥料 (内 有機入り)	6,236 (4,757)	6,013 (4,768)	7,287 (5,473)	6,672 (4,911)	6,790 (4,744)	7,103 (4,828)	7,386 (4,950)	7,342 (4,920)	5,894 (3,828)	80.3 77.8
(内 粒状配合肥料)	(85)	(35)	(111)	(106)	(298)	(425)	(346)	(277)	(63)	22.7
その他複合肥料 (緩効性肥料)	1,243 (5,930)	894 (5,840)	1,176 (5,948)	1,303 (6,131)	842 (6,594)	764 (6,691)	1,141 (6,960)	854 (8,420)	582 (6,846)	68.1 81.3
複合肥料合計	31,661	29,136	35,377	30,140	29,736	29,721	30,849	30,606	23,501	76.8
生石灰	1,022	1,052	1,092	1,042	1,018	1,007	945	964	794	82.3
消石灰	1,946	2,044	2,501	2,072	1,826	1,816	1,574	1,721	1,287	74.8
炭酸カルシウム	5,543	5,621	7,476	6,149	5,856	5,584	5,843	5,697	3,491	61.3
副産石灰肥料	380	398	391	138	134	162	488	808	451	55.8
混合石灰肥料	290	273	257	242	181	191	181	71	63	89.3
貝化石肥料	447	566	797	766	8,205	667	587	383	333	87.0
けい酸質肥料	1,369	1,303	1,653	1,502	1,605	1,637	1,869	1,398	1,387	99.2
その他石灰質肥料	933	930	301	220	75	297	244	295	242	81.9
石灰質肥料合計	11,931	12,187	14,468	12,131	18,900	11,361	11,731	11,337	8,047	71.0
植物油かす (内 なたね油かす)	870 (849)	835 (818)	908 (812)	876 (629)	696 (686)	773 (569)	1,634 (925)	752 (741)	297 (293)	39.5 39.5
魚粉類	46	51	50	41	35	39	37	38	34	89.3
骨粉類	23	23	132	135	76	79	76	70	62	87.9
その他有機質肥料	334	269	67	96	413	391	340	2,085	305	14.6
有機質肥料合計	1,277	1,178	1,157	1,148	1,220	1,282	2,087	2,945	697	23.7
苦土肥料	180	298	200	308	296	245	185	247	178	72.1
マンガン肥料	0	0	3	1	2	1	1	1	1	98.3
おおい肥料	61	51	8,837	8,860	8,874	94	1,695	43	44	101.7
たい肥	14,117	15,882	18,163	18,806	9,923	17,020	42,842	17,813	9,644	54.1
動物の排せつ物	232	67	1,628	308	25	274	18	22	0	0.0
その他特殊肥料	2,310	2,473	3,389	2,323	1,397	2,032	162	137	25	18.2
特殊肥料合計	16,884	18,910	23,180	21,437	11,345	19,326	43,023	17,973	9,669	53.8
肥料実数総計	64,853	64,778	86,615	76,546	72,889	64,150	92,146	65,994	43,895	66.5

(4) 畜政推進事業

畜産安全課の依頼により、特殊肥料の生産届出を促進する目的で、各家畜保健衛生所より推薦された農家の堆肥成分を分析し、結果を報告した。令和6年度は10件の分析を行った(表4)。

表4 令和6年度堆肥分析結果

農家	畜種等	分析項目	窒素全量	リン酸全量	加里全量	銅全量	亜鉛全量	石灰全量	炭素窒素比	電気伝導度	水分含有量
		区分	(%)	(%)	(%)	(mg/kg)	(mg/kg)	(%)		(dS/m)	(%)
A	採卵鶏	現物当たり	1.6	2.9	1.2	36.2	220.9	10.8	7	7.2	16.3
		乾物当たり	2.0	3.5	1.4	43.3	263.9	12.9		—	—
B	乳用牛	現物当たり	1.9	0.7	2.8	17.2	87.4	1.5	17	6.7	30.5
		乾物当たり	2.7	1.1	4.0	24.7	125.7	2.2		—	—
C	豚	現物当たり	2.8	4.0	2.0	88.0	852.6	4.1	11	5.0	15.8
		乾物当たり	3.3	4.7	2.3	104.5	1012.2	4.9		—	—
D	採卵鶏	現物当たり	1.6	4.3	3.3	28.3	303.2	19.3	11	7.6	18.4
		乾物当たり	2.0	5.3	4.0	34.6	371.3	23.6		—	—
E	豚	現物当たり	3.9	5.6	2.1	118.7	607.9	5.4	9	6.3	13.2
		乾物当たり	4.5	6.4	2.4	136.8	700.2	6.3		—	—
F	豚	現物当たり	1.5	1.2	0.4	38.6	118.4	0.5	15	3.1	44.7
		乾物当たり	2.8	2.2	0.7	69.7	214.1	0.9		—	—
G	肉用牛	現物当たり	1.9	3.0	3.4	19.9	124.6	1.4	15	8.6	30.7
		乾物当たり	2.7	4.3	4.9	28.7	179.6	2.1		—	—
H	肉用牛	現物当たり	1.9	3.1	3.2	21.4	139.5	1.5	15	8.7	30.7
		乾物当たり	2.8	4.4	4.7	30.9	201.3	2.2		—	—
I	肉用牛	現物当たり	1.5	1.9	2.7	12.7	78.6	1.0	17	7.8	39.9
		乾物当たり	2.4	3.1	4.4	21.1	130.8	1.7		—	—
J	肉用牛	現物当たり	2.3	4.4	4.7	23.6	179.5	2.5	11	10.1	28.4
		乾物当たり	3.2	6.2	6.5	32.9	250.9	3.5		—	—